

下田メディカルセンター広報誌

下田+MCLセンター

2021.1.1 発行

vol. 23



新型コロナウイルス感染拡大に対する
当院の対応について

小児科・心理カウンセリングのご紹介

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、当院も賀茂医療圏の唯一のコロナ受け入れ病院として、帰国者・接触者外来での検査、入院患者の受け入れ等、コロナに正面から対応して参りました。この間、何とか院内感染を起さずに来ていますが、これは当院の職員の奮闘はもちろんのことですが、物心両面で様々なご指導、ご支援をいただきました県や市町の関係機関、医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆さま、介護関係施設の皆さま等、多くの皆さまのお陰と、職員を代表しまして深く感謝申し上げます。

これまでは当たり前だった生活習慣までも大きく変えてしまう新型コロナウイルス感染症との闘いは、残念なことにもう少し続きそうな状況です。平時の医療に加えてのコロナ対応が長期に亘ってきたため、当院の職員も疲弊気味ではありますが、「賀茂地区の医療は何としても守る!!!」との強い気持ちでもうひと踏ん張り致しますので、皆さまには昨年同様のご指導、ご支援を宜しくお願い致します。

地域の医療関係者の皆さまと顔の見える緊密な関係を醸成するために、当院は医療・介護連携推進協議会やメディカルイブニングセミナー等を開催してきましたが、これらも昨年は中止せざるを得ませんでした。コロナ禍が収束し次第再開することとしていますので、その際には積極的にご参加下さい。皆さまと直接にお会いして意見交換等ができる日が一日でも早く来ますよう、共にコロナと闘って参りましょう。

本年も下田メディカルセンターを宜しくお願い致します。



下田メディカルセンター 病院長 畑田 淳一

看護部通信

院内の感染管理を担当しております下田メディカルセンター感染管理認定看護師の大年聖子と申します。

令和2年はコロナで始まりコロナで終わろうとしています。このコロナ禍で多くの皆様が、感染対策の重要性を再認識されたのではないのでしょうか。

私達病院職員も院内感染を起こしてはいけないという強い思いと、対策の実践が感染防止につながっていると思います。まさに一人ひとりの感染対策が、大きな力となりました。

さて、私が現在活動している認定看護師の仕事を少し紹介させていただきます。院内の環境ラウンドや感染部会・感染委員会の開催、手指衛生サーベイランス、細菌報告の追跡調査や指定感染症の保健所報告など。また院外では、感染対策の講師や感染症診査会など。法律で決められた指定感染症が、感染症法に基づき正しく公費適用されているかの診査もメンバーの一員として診査しています。このような活動の中一番の目標は、職員・患者とその家族・地域住民を感染から守ることです。

猛威を振るって押し迫ってくる新型コロナウイルス。季節性のインフルエンザと同時発生もあるのか緊張と不安の中、更なる感染管理の必要性が求められてきます。皆様のお力を借りながら、当院が感染対策のモデルとなるよう一層努力していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



感染管理認定看護師 外来看護係長 大年 聖子



新型コロナウイルス感染拡大に対する 当院の対応について



世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の再拡大により、多くの方がすでに日常生活にさまざまな支障をきたし、また社会にも長期的な影響がもたらされています。この先行きの見えない状況下で、当院は賀茂医療圏で唯一、感染患者の入院を受け入れる医療機関として重要な役割を担っています。本年9月には、COVID-19感染の有無を判定する抗原検査機器「ルミパルスG600 II」を一部事務組合の支援で導入しました。検体採取後1時間程度で結果が判明するので、救急搬送で感染が疑われる患者や観光客など、即時に検査結果を必要とする場合に有効です。併せて、自覚症状が無くてもCOVID-19の検査を希望する方については、自費診療でPCR検査を受けられる体制(予約制)を取っております。

また、今後COVID-19がこの地域でも蔓延した場合に備え、静岡県からの整備事業を利用し一部事務組合の支援により屋外医療用陰圧テントを購入しました。今までのテントと比べ室内は保温性もあり、冬季においても利用可能となっております。

COVID-19の今後を正確に予想することは出来ませんが、地域の皆様の変わらぬご支援に感謝致しますとともに、一日も早く事態が収束し、明るい未来を実現できるようこれからも努力して参ります。

抗原検査機器
「ルミパルスG600 II」



屋外医療用
陰圧テント



小児科・心理カウンセリングのご紹介

「カウンセリング」という言葉を聞くと精神科や心療内科のイメージがあるかもしれませんが、下田メディカルセンター小児科では、3名の心理士がカウンセリングを担当しております。

小児科は対象年齢も幅広く、対象疾患も多様なため、非常に間口の広い診療科といえます。受診をする子供たちの中には、身体症状だけでなく、さまざまな悩みを抱えた子供がやってきます。例えば、登校しようとするとお腹が痛くなったり、不安な気持ちになったり…。そのようなときに、体のケアと並行して心のケアを行います。子供の場合にはボードゲームやおもちゃなどを使いながら、あそびによる心の表現を通して心身のバランスを取り戻していきます。



また最近では発達障害へのニーズも高まっており、下田メディカルセンターでも各種の発達検査や知能検査(WISC-IV等)、性格検査(TEG等)を行っております。検査結果から子供の得意なことや苦手なことを分析し、学校生活や日常生活をより楽しく過ごせるようサポート方法を提案していきます。結果報告の際には、小児科医、心理士、保護者、そして通学先である小中学校の先生方が一同に集まり、結果を共有し今後の方向性について話し合う機会も増えてきております。

今年4月には当院初となる言語聴覚士を迎えたことで、少しずつではありますが連携を図り、充実した医療を提供できるよう環境を整えております。また必要に応じて、適切と思われる専門医療機関への紹介もご案内しております。

小児医療過疎の当地において地域で育つ子供たちの成長を、小児科医を始め、看護師や医療スタッフ、小中学校の先生方、保健師の皆様、専門医療機関等の心強いお力添えにより、幼児期から青年期というかけがえのない時期に携わることができていることを日々実感しております。

今後とも、ご指導、ご鞭撻、そして温かいご支援のほど、何卒よろしく申し上げます。

臨床心理士、公認心理師 中山 千亜規

賀茂地区在宅医療介護連携推進支援センターよりご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様には穏やかに新年をお迎えられたこととお喜び申し上げます。

また、旧年中は、賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターの運営にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の発生により勉強会、講演なども縮小して開催となっておりますが、本年も関係市町、静岡県の協力をいただきながら引き続き在宅医療・介護連携事業を進めて参りたいと思っております。

本年もご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

賀茂地区在宅医療介護連携推進支援センター
杉山

地域医療連携室よりご挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。令和三年の新春を健やかに迎えられたことと思います。

昨年、中国に端を発した新型コロナウイルスが世界的に広がりをみせる中、当院では畑田病院長の指揮のもと、賀茂地区医療圏において一早く感染病床並びに帰国者・接触者外来を開設し、感染予防と治療に取り組んで参りました。感染症担当医師、感染担当看護師として看護部長をはじめ役職者が勤務にあたり、防護服に身を堅め、感染予防待機期間は自宅に帰らず家で過ごすなど真摯に責務を果たされているその姿に、同じ職場の一職員としても感謝の思いが込み上げます。

地域連携におきましては、病状説明や担当者会議など人数制限を設けるなど様々な場面でご迷惑おかけする中、ご理解ご協力賜り地域の患者様の支援が滞りなく行えることに、この場をお借りして御礼申し上げます。

終息が見えない中ではありますが、一方でワクチンの開発など明るい兆しも見えます。本年の干支は「辛丑」。【辛】は植物が枯れ新世代の生まれる状態を指し、【丑】は発芽する芽が硬い殻を破る状態を指すそうです。本年はこの厳しい状況に終わりを告げ、「新たな芽生え・命の息吹」の年になるよう前向きに取り組んで参りたいと思っております。

本年も宜しくお祈り申し上げます。

医療ソーシャルワーカー 木村

新春のお喜びを申し上げます。

皆さまおすこやかに新春をお迎えのことと存じます。新型コロナウイルスのさまざまな影響を受けるなかで皆さまの温かいお心遣いが励みになりました。皆さまのお心遣いに感謝し、本年もさらに成長できるよう努力してまいります。今年には丑年。去年よりモーっと幸せな年になりますように。

医療ソーシャルワーカー 神取

新年あけましておめでとうございます。

昨年はお多くのご紹介を賜り、誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症流行によりイベントセミナーの開催も中止となりとても残念な気持ちでいっぱいですが、ですが、コロナに負けず本年度も医療・医療連携の推進に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

地域医療連携室事務員 土屋

発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/

発行責任者 地域医療連携室長 吉野 清志

伊豆急下田駅から徒歩10分。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター

(今里クリニック介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)
〒243-0423
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号
TEL.046-232-0606